

科目名	臨床神経学					授業の種類	講義	必修・選択	必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期	1年 後期
【授業の目的・ねらい】 臨床医学として、神経系の機能的解剖学を基本に各種疾患と障害の診断、治療などの基礎的知識を身に付ける。									
【実務者経験】									
【授業全体の内容の概要】 神経疾患の概要と病態、メカニズムおよび臨床に必要な診断・治療について理解できる。 国家試験に則した基礎的知識を身につける。									
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 言語聴覚士として必要な臨床神経学的事項を理解し説明できる。									
回数	講義内容								準備物(教材)
1	神経系の解剖・生理① ～感覚神経について理解できる。								
2	神経系の解剖・生理② ～脳血管について理解できる。								
3	脳血管疾患総論① 脳血管疾患について概要を理解できる。								
4	脳血管疾患総論② 脳血管疾患について主な発症メカニズムを理解できる。								
5	脳梗塞、脳出血、くも膜下出血について理解できる。								
6	アルツハイマー病、二次性認知症、頭蓋内圧亢進症、頭部外傷、脳腫瘍について理解できる。								
7	運動ニューロン疾患 ALSについて理解できる。								
8	脊髄小脳変性症・パーキンソン病・ハンチントン病・脱髄疾患・重症筋無力症について理解できる。								
定期筆記試験									
【使用教科書・教材・参考書】 『言語聴覚士テキスト第3版』									
【準備学習・時間外学習】 予習としてテキストを読んでおくことが望ましく、復習として授業で得た知識を覚えることが必要です。									
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。									